

特ラ機構レポート

No.168

令和元年 5 月 1 日

平成 30 年度第 6 回 理事会 報告	2
最新の運用連絡・調整総件数	9
新規加入会員紹介コーナー	13
第 19 回関東広域圏 FPU・ラジオマイク懇談会	16
地上デジタル放送 (4K・8K) に 向けた実証実験について	19
ちょっとブレイク	20
イベントの情報	22
事務局便り	24



[理事会報告] 平成30年度 第6回 理事会

1. 日 時 平成 31 年 4 月 17 日(水) 15 時～ 17 時

2. 場 所 中野サンプラザ 6 階 ムーンルーム

3. 出席者 (会長・理事長・理事・監事：総数 23 名)

出 席 [理事長] 渡邊邦男

[理 事] 石橋 透, 上田好生, 小野良行, 北口紀雄, 小林 敬, 小間新五,
鈴木久利, 津田浩之, 萩原桂吾, 橋本喜代志, 右田研介, 吉田廣嗣

[監 事] 伊藤 博, 國枝義久

委任出席 [会 長] 八幡泰彦

[理 事] 小俣公洋, 金光浩昭, 田中勝久, 西澤勝之, 則行正信, 橋本秀幸,
本間俊哉

4. 平成 30 年度 第 6 回理事会 開催挨拶

渡邊理事長より、平成 30 年度最後の理事会であることに鑑み、平成 30 年度の機構運営へのご協力に感謝する旨の挨拶があった。

4 月 1 日付けで事務局職員に採用された干川彩乃職員の紹介があり、本人の自己紹介と挨拶の後議題に入った。

5. 議 題

〔報告事項〕

(1) 運用連絡と調整の近況について 別紙資料にて説明(理事会資料：30-6-01_a,b,c)

a. 運用連絡数の推移 b. イベント報告 c. 干渉報告

(2) 特ラ機構レポート

167号は、平成31年3月1日(金)に発送済。168号は5月連休明けに発送予定となっている。内容は、理事会報告、第19回関東広域圏「FPU・ラジオマイク懇談会」報告などを掲載予定で、レポートと一緒に情報通信月間のチラシを同封する。

(3) 各委員会報告

① 賛助委員会

今期、賛助委員会は開催されなかった。

② 技術委員会

今期、技術委員会は開催されなかったが、3月14日(木)第19回関東広域圏FPU・ラジオマイク懇談会に技術委員長 ソニー(株)小川氏が出席された際には、渡邊理事長と今後の委員会活動方針などに関しても忌憚のない意見交換が行われた。

③ 特ラ機構 技術賞委員会

第 19 回 技術賞委員会「連絡会」

平成 31 年 3 月 27 日(水) 特ラ機構事務局にて技術賞委員 6 名の参加で実施した。

今回もオブザーバーとして、特ラ機構を退職された大野氏にサポートをお願いした。

昨年同様、(公社) 日本舞台音響家協会、(一社) 日本ポストプロダクション協会、日本舞台音響事業協同組合、(協) 日本映画・テレビ録音協会の後援をいただき、特ラ機構レポート 165 号、166 号送付時に第 19 回技術賞の案内状・推薦書を同封した。

昨年 11 月から 3 月 31 日の締め切りまでにご応募いただいた件数は 7 作品だった。

各委員は、選考日前日までに各自で予備選考を行い、4 月 12 日(金)、株式会社エス・シー・アライアンス(早稲田) の A スタジオで選考会を行うことを決定した。

第 19 回 技術賞委員会「選考会」

平成 31 年 4 月 12 日(金) 14:00 から、株式会社エス・シー・アライアンス(早稲田) の A スタジオにて選考会をおこなった。各賞は近日中に決定する予定。

技術賞授与式は、6 月 28 日(金) の特ラ機構総会時に開催する。

④ 編集委員会

第 72 回編集委員会は、平成 31 年 3 月 28 日(木) に当機構事務局にて開催した。出席者は 5 名。167 号を振り返って反省点等を確認した他、168 号への掲載記事の検討、記事作成分担、発送時期の確認などをおこなった。

(4) 総務省関係、ARIB 関連の報告

① 総務省関連

4 月 3 日(水) 総務省会議室にて行われた、情報通信審議会 情報通信技術分科会 放送システム委員会 FPU 高度化検討会議に甲田テクニカルチーフが出席した。

4 月 3 日(水) 総務省移動通信課より TVWS チャンネルリストが更新された。

② ARIB 関連

4 月 12 日(金) 第 111 回規格会議が行われたが、検討項目にラジオマイクが直接的に関係する議題が無かったため、業務多忙につき出席を見送った。

4 月 16 日(火) 準マイクロ波帯 FPU 検討 TG (高度化検討) に甲田テクニカルチーフが出席した。(1.2/2.3GHz 新周波数対応 FPU 検討 TG の名称が上記に変更された。)

(5) TV ホワイトスペース等利用システム運用調整協議会 (略称: WS 協議会)

① 幹事会

3 月 13 日(水) TKP 新橋汐留ビジネスセンターにて行われた第 44 回幹事会に渡邊理事長、石川統括チーフ、甲田テクニカルチーフの 3 名が出席した。会議では平成 30 年度活動報告ならびに平成 31 年度予算などが審議されたが、当機構からの要望事項なども提案され今後検討班などでの協議となった。

② 統合 DB 作業班

3 月 27 日(水) リンク情報システムにより、運用連絡システムの平成 30 年度下期改修作業がおこなわれた、今回の改修により入力画面より担当者、現地担当者へのメール送信が混信判定の有無に関わらず可能となった。

③ 協議会負担金について

平成 30 年度中の WS 協議会負担金（免許人登録費・免許登録費・運用調整費ほか）について、合計 28,782,500 円となった。平成 31 年 3 月末に全額の支払いをおこなった。

④ 第 19 回 関東広域圏「FPU・ラジオマイク懇談会」

第 19 回関東広域圏「FPU・ラジオマイク懇談会」が平成 31 年 3 月 14 日(木) 中野サンプラザ 15F フォレストにて、協議会事務局（電波技術協会）との共催により開催された。

懇談会では、議題（セミナー）として、協議会事務局長 加藤 千早氏による「協議会の現状と今後」と題した講演と(株)NHK アイテック（現：(株)NHK テクノロジーズ）岩館 祐一氏による「1.2/2.3GHz 帯 FPU 高度化に向けて」の講演をおこなった。熱心な質疑応答の後、ご出席いただいた総務省関東総合通信局放送課 課長 田中敏晴氏よりご挨拶を頂いた。

会議出席は 29 名、懇親会は 25 名の参加となった。

(6) 情報通信月間協議会報告

「2019 年度第 1 回運営連絡会」が平成 31 年 3 月 20 日(水) 情報通信月間推進協議会会議室(東京・九段下)にて開催され、当機構事務局から武藤が参加した。

2019 年度は「ICTで人と地域の未来につながる やさしい社会へ」のテーマで実施する。総務省では、情報通信の普及・振興を図ることを目的に、5 月 15 日(水) から 6 月 15 日(土) までの期間を「情報通信月間」とし、この期間中、情報通信に関する各種セミナー・シンポジウム・展示会等、全国各地で多彩な行事が開催される。

今年度は、6 月 5 日(水) に例年通り、総務省関東総合通信局との共催、情報通信月間推進協議会の後援により「特定ラジオマイクの更なる活用に向けて」と題してセミナーを開催する予定となっている。

特ラ機構ホームページと 5 月発送の特ラレポート等で、このセミナーに対して会員からのリクエストを募ります。ラジオマイクの運用で日ごろから疑問に思うこと、改善して欲しいこと、TV ホワイトスペース帯に関すること、イヤーマニターのこと、LED 映像システムとの問題点など、事務局宛にメール・FAX・電話・郵便、何れも可。締め切りは 5 月 25 日(土) です。

※今年度全国で開催される催しが、2019 情報通信月間登録行事として、下記ホームページの「参加行事一覧」「2019 年 参加行事」から閲覧することが出来ます。

情通通信月間ホームページ <http://www.jtgkn.com/>

(7) 平成 31 年度の再免許手続き

平成 30 年度の再免許申請手続き業務は、432 会員 10,168 局にて終了となった（自社申請は 22 会員 541 局）。前年度と比較すると、413 会員増え、局数は 9,909 局増という結果である。大幅な増加の原因については、周波数移行に伴う終了促進措置によって、一定期間中に集中して取得された多くの無線局免許が再免許を迎えたことによるもの。

新しい免許状は当機構にて内容を記録の上、5 月下旬に当該会員へ発送する予定となっている。

(8) ITS 実験 (Intelligent Transport System)

トヨタ自動車株式会社と特ラ機構が平成 27 年 3 月 31 日(日) に締結した「700MHz 帯実験試験局と A 型ラジオマイクとの運用調整に関する覚書」によって、周波数移行最終日まで実施してきた、トヨタ自動車 東富士研究所（静岡県裾野市御宿 1200）テストコース内に

設置された 700MHz 帯実験試験局との運用調整が平成 31 年 3 月 31 日に終了した。これをもって、平成 19 年から長期間続けてきた ITS 実験局との運用調整は、トラブルも無くすべて完了した。会員各位と ITS 実験局関係者の方々の協力に深謝いたします。

なお、トヨタ自動車株式会社の 700MHz 帯（755.5 ～ 764.5MHz）実験試験局は、引き続き「ITS-Connect」開発に使用していくという報告を受けている。

(9) ラグビーワールドカップ / 東京オリ・パラ組織委員会

今期、具体的な動きは無かった。

(10) 地上 4 K・8 K デジタル放送の実験試験局運用について

昨年 9 月に開始された名古屋地区に於ける TV35ch を用いた実験試験局の運用は平成 31 年 3 月末日で一旦終了となった。なお、総務省はこれまでの研究開発の成果を受けて、今年度以降も引き続き地デジ高度化の実現に向けた調査検討に取り組むとのこと。

2019 年度の特定ラジオマイクに関連する本調査検討の情報については、当機構ホームページおよび特ラ機構レポートなどで逐一告知する予定である。（現在「地デジ高度化受信対策センター」のホームページに関してはアクセスをしても停止状態となっている。）

なお、今回の実験試験局との運用調整における業務実施報告書を渡邊理事長が作成し、株式会社 NHK テクノロジーズに提出したことを報告した。

各会員の協力で円滑な運用調整のもと、計画通りに実証実験が進められたことに改めて感謝を申し上げるとともに、同様の実験が実施される際には、理事および会員各社に引き続きのご理解、ご協力を頂けるようお願いをした。

(11) 短信、その他

① ホームページ更新

3 月の更新においては、最新号の特ラ機構レポートなどの定期更新、「地デジ 4K8K 実験試験局情報」の文章内容の変更などに加え、「お知らせ」の箇所に新たに電波技術協会のエリア放送一覧が掲載されている URL へのリンクを設置した。また年度末ということで、Q & A ページ、入会案内ページ、資料ダウンロードページなどの表記内容を一新したことを報告した。

② 調整連絡による打合せの遅延について

4 月 6 日(土) 東京宝塚劇場 清山氏よりご連絡があり、同施設に隣接する千代田区有楽町界限にある施設での移動局による運用連絡が遅く、運用周波数の確認などの対応に苦慮しているとの事。

特ラレポートに、「電波過密地区の固定会員担当者からのお願い」として、移動局会員に対して、運用連絡の早めの提出をお願いするコメントを記載してほしいとの要望を頂いた。

(12) 八幡会長の近況

平成 30 年度第 6 回理事会後に会長宅を訪問し、理事会報告等を行う予定です。

6. [審議事項]

(1) 会員の入退会 平成 31 年 2 月～平成 31 年 3 月分

[入会]

東 北：株式会社アンドアッシュ、株式会社めんこいエンタープライズ（いわて県
民情報交流センター 小田島組☆ほ～る）、株式会社福島映機サービス
関 東：東京急行電鉄株式会社（渋谷ストリームホール）、株式会社ティ・ピー・ブレー
ン、株式会社日本ネットワークサービス、株式会社 WISE CORPORATION,
株式会社サイバーエージェント（アベマタワーズ）、有限会社オープランニン
グ、株式会社ジユン（B.I.F BY NERGY 原宿スタジオ）、株式会社リトミック
信 越：ホテル国際 21 株式会社（ホテル国際 21）
東 海：新生テクノス株式会社（新生テクノス株式会社 研修センター）
近 畿：一般社団法人京都産業会館（京都産業会館ホール）、水田 智貴
四 国：高田 雄太
九 州：株式会社ライクアール、株式会社 S I H

[退会]

東 北：株式会社東北博報堂（いわて県民情報交流センター）
関 東：吉田 実、株式会社 MPD
近 畿：株式会社宝塚舞台、宗教法人霊友会第八支部教会、株式会社ビート（CLUB
PICCADILLY UMEDA OSAKA）
九 州：有限会社あつたエンタープライズ

以上、上記会員の入退会について、理事会の承認を得た。

(2) 会員数

平成 31 年 3 月末現在 1,328 会員

(3) 無線局数

平成 31 年 3 月末現在 44,516 局

内 訳

① 470 ～ 714MHz

ラジオマイク 34,777 局

イヤモニ 2,516 局

② 1.2GHz 帯

ラジオマイク 7,223 局

合 計 44,516 局

(4)「特ラ機構 関係費用」

周波数移行が終了したことに伴い、現在の運用調整費用について会費規約上の価格（マイク 1 局あたり：固定 1,200 円、移動 3,600 円）を変更し、2018 年度から暫定価格として計上していた下記の運用調整費用を、会費規約上の価格として適用したい。

ラジオマイク・イヤーマニター運用調整費用単価表

項 目	WS または専用帯	WS+ 専用帯	1.2GHz 帯
固 定	900 円	900 円	900 円
移 動	1,200 円	1,800 円	2,100 円

上記について審議した結果、理事会の承認を得た。なお、諸々の情勢変化に応じた見直しができるよう、概ね 2 年ごとを目途に理事会へ議題として取り上げるべき旨、理事から意見が付された。

(5) 年会費および運用調整費未納の会員について

平成 31 年 4 月 1 日(月) に 3 年以上未納となった除名対象の 15 会員に通知を送付した。

その後、入金や返信のあった会員を除く 7 会員については、再度の通知と電話にて未納金の請求と退会意思の有無を確認していくこととした。退会の場合、特定ラジオマイクの運用調整ができなくなることを理解して頂いた上で、未納金の請求を行っていく旨を報告した。

上記について、除名処分時の詳細な規約等を検討するようという意見があった。

(6) 2019 年総会議案書

- ① 2018 年度事業報告（案）
- ② 2019 年度事業計画（案）
- ③ その他

2019 年総会の事業報告案および事業計画案の説明をおこない承認を得た。また、その他として特ラ機構会員の種類別保有マイク局数表を資料として添付することも決定した。

総会開催日時

日 時 ： 令和元年 6 月 28 日(金) 14:00 ～
 場 所 ： 中野サンプラザ 11F アネモルーム
 18:00 から懇親会 13F スカイルーム

次回理事会（予定）

日 時 ： 令和元年 8 月 7 日(水) 15：00 ～ 17：00

場 所 ： 中野サンプラザ 6F フラワールーム

協力団体

（公社）日本演劇興行協会

（公社）日本芸能実演家団体協議会

（公社）日本舞台音響家協会

（一社）日本ポストプロダクション協会

（一財）電波技術協会

日本舞台音響事業協同組合

（協）日本映画・テレビ録音協会

TV ホワイトスペース等利用システム運用調整協議会

以上

運用連絡と調整の総件数

2019年2月～2019年3月

理事会資料 30-6-01_a

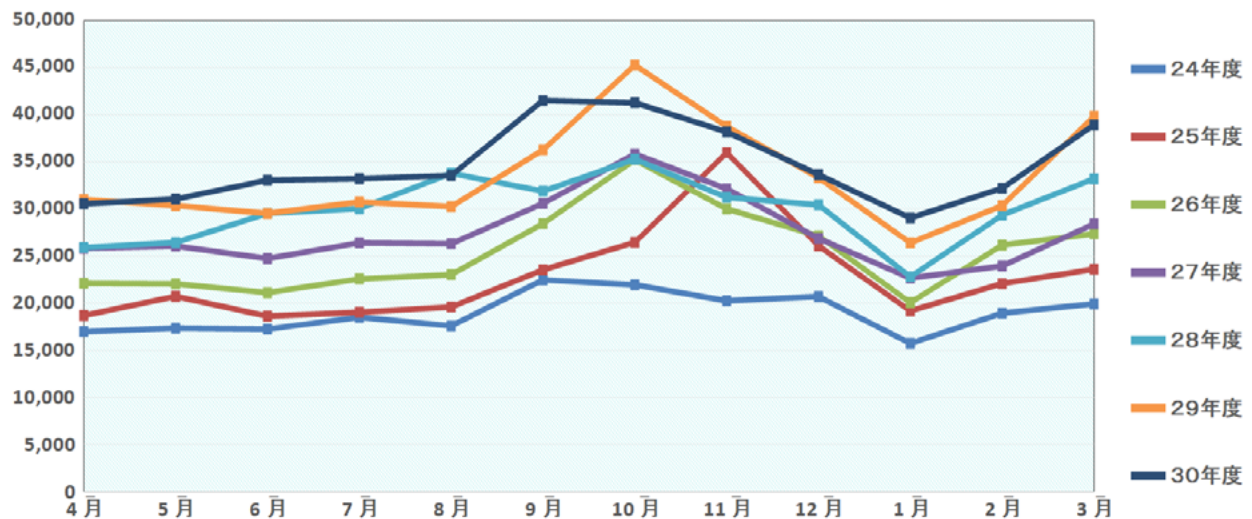
1. 最新の運用連絡・調整総件数（現行と新周波数帯）

各年度月別運用連絡・調整総件数

2019.04.16 現在

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
24年度	16,962	17,349	17,241	18,505	17,587	22,472	21,945	20,251	20,702	15,721	18,947	19,929	227,611	18,968
25年度	18,692	20,724	18,619	19,034	19,591	23,545	26,458	35,978	26,087	19,180	22,080	23,610	273,598	22,800
26年度	22,117	22,048	21,117	22,575	23,028	28,445	35,228	30,007	27,148	20,058	26,165	27,365	305,301	25,442
27年度	25,820	26,057	24,741	26,402	26,310	30,586	35,837	32,149	26,878	22,670	23,948	28,412	329,810	27,484
28年度	25,906	26,434	29,533	30,042	33,798	31,895	35,280	31,229	30,446	22,801	29,352	33,214	359,930	29,994
29年度	30,998	30,364	29,530	30,740	30,248	36,274	45,276	38,766	33,329	26,406	30,360	39,843	402,134	33,511
30年度	30,545	31,053	33,060	33,238	33,549	41,522	41,272	38,187	33,660	29,050	32,212	38,932	416,280	34,690

各年度月別運用連絡・調整総件数の推移



2. 現行周波数帯の運用連絡・調整総件数

各年度各月別運用連絡・調整総件数

2019.04.16 現在

現行	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
24年度	16,962	17,349	17,241	18,505	17,587	22,472	21,945	20,251	20,702	15,721	18,947	19,929	227,611	18,968
25年度	18,692	20,724	18,619	19,034	19,591	23,545	26,458	35,978	26,087	19,180	22,080	23,610	273,598	22,800
26年度	22,117	22,048	21,117	22,575	23,028	28,445	32,370	27,277	24,323	17,557	23,285	21,999	286,141	23,845
27年度	19,408	19,144	16,944	17,433	16,050	19,315	21,702	19,445	15,748	11,171	10,619	10,320	197,299	16,442
28年度	6,745	5,949	5,169	4,365	4,381	4,249	4,180	3,124	2,708	1,474	2,344	1,697	46,385	3,865
29年度	798	574	476	573	398	487	407	261	251	35	8	13	4,281	357
30年度	12	8	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	2

※ H30 年 4月～6月の運用連絡・調整総件数は全て実験試験局（ラグビー審判団用）です。現行周波数帯はH30年5月末を以て周波数移行を完了しました。

3. 新周波数帯の運用連絡・調整総件数

各年度各月別運用連絡・調整総件数

2019.04.16 現在

新	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
26年度							2,858	2,730	2,825	2,501	2,880	5,366	19,160	3,193
27年度	6,412	6,913	7,797	8,969	10,260	11,271	14,135	12,704	11,130	11,499	13,329	18,092	132,511	11,043
28年度	19,161	20,485	24,364	25,677	29,417	27,646	31,100	28,105	27,738	21,327	27,008	31,517	313,545	26,129
29年度	30,200	29,790	29,054	30,167	29,850	35,787	44,869	38,505	33,078	26,371	30,352	39,830	397,853	33,154
30年度	30,533	31,047	33,057	33,238	33,549	41,522	41,272	38,187	33,660	29,050	32,212	38,932	416,259	34,688

前年比 333 増 1,257 増 4,003 増 3,071 増 3,699 増 5,735 増 3,597 減 347 減 582 増 2,679 増 1,860 増 898 減 18,406 増 1,534 増

4. 当期（平成 31 年 2 月～ 3 月）と前年同期（平成 30 年 2 月～ 3 月）の 2 ヶ月間の運用連絡・調整総件数の比較

（１）現行周波数帯と新周波数帯の運用連絡・調整総件数

現行周波数帯では前期に比して	21 件の減	1 年間の比較	4,260 件減
新 周波数帯では前期に比して	962 件の増	〃	18,406 件増
全ての周波数帯域では	941 件の増であった。	〃	14,146 件増

（２）連絡件数と調整総数の比率

前年同期は運用連絡件数の 1.63 倍という運用調整総数だったが、当期は 1.48 倍であった。

平成 29 年度と 30 年度を比較すると、1.43 倍から 1.39 倍へと、僅かに送信する比率が減少した。

5. 特定ラジオマイクが運用された主なイベント (2019 年 2 月～ 3 月)

理事会資料 30-6-01.b

イベント名	日 程	施 設	運用 社数	ブース数	マイク・イヤモニ			計
					TVWS	TVWS 711-714	1.2GHz	
ENEX 2019/nano tech 2019 他	1/30 - 2/1	東京ビッグサイト	6	8	4	16	6	26
住まいの耐震博覧会 2019	2/1 - 2/2	東京ビッグサイト	6	7	6		25	31
フィッシングショー 2019 大阪	2/1 - 2/3	インテックス大阪	11	15	45	6	25	76
日本ものづくりワールド 2019	2/6 - 2/8	東京ビッグサイト	8	9	3	2	15	20
オートメッセ 2019 ※	2/9 - 2/11	インテックス大阪	10	11	65	2		67
スーパーマーケットトレードショー 2019 ※	2/13 - 2/15	幕張メッセ	12	16	28	3	24	55
次世代ワールドホビーフェア 大阪大会 ※	2/17 -	京セラドーム	8	13	46	2	51	99
国際ホテル・レストランショー 2019	2/19 - 2/22	東京ビッグサイト	8	13	19	8	29	56
モバックショー 2019	2/20 - 2/23	幕張メッセ	8	11	14	2	15	31
スマートエネルギー week	2/27 - 3/1	東京ビッグサイト	10	12	12	4	12	28
C P + 2019 ※	2/28 - 3/1	パシフィコ横浜	15	19	67	1	45	113
FOODEX JAPAN 2019	3/5 - 3/8	幕張メッセ	5	8	27	1	13	41
セキュリティショー 他 ※	3/5 - 3/8	東京ビッグサイト	21	26	29	10	46	85
ドラッグストアショー 2019 他 ※	3/13 - 3/15	幕張メッセ	22	29	76	1	52	129
ジャパン建材フェア 他 ※	3/15 - 3/16	東京ビッグサイト	10	15	16		27	43
大阪モーターサイクルショー 2019	3/15 - 3/17	インテックス大阪	5	7	16	2	4	22
東京モーターサイクルショー 2019 ※	3/22 - 3/24	東京ビッグサイト	15	20	37	9	39	85
ジャパングolfフェア 2019	3/22 - 3/24	パシフィコ横浜	8	10	16	10	21	47
Anime Japan 2019 ※	3/23 - 3/24	東京ビッグサイト	22	30	157	4	47	208

運用局数 20 局以上を表記 ※周波数配分イベント
表 1

2019 年 2 月から 3 月の 2 ヶ月間に、主な施設で特定ラジオマイクが運用された催事は 106 件（コンサート・握手会を除く）ありました。昨年は 98 件でしたのでイベント件数は増加しました。

この時期は例年イベントが最も多く開催されます。時期的に就活に関わる催事が目につきますが、多種多様なイベントが目白押しに開催されていました。

この他にも、握手会、ハイタッチ会、コンサートで表記の施設を利用したものが 36 件ありました。

表記中※印の催事は事務局にてチャンネルプランを組み、周波数配分をしました。

以下、周波数配分をしたイベントの詳細を報告します。

6. イベント報告 周波数配分

理事会資料 30-6-01_c

「大阪オートメッセ」インテックス大阪 ホール 2 - 6

TVWS 帯 10 社 67 局に周波数配分を行った。アナログ 55 局 デジタル 12 局 TV30ch ~ TV40ch が集中したホール3についてアナログから検討を行ったが、各ブースの帯域が分散したこともあり、プランは組み易かった。

「スーパーマーケットトレードショー」幕張メッセホール 1 - 8

1.2GHz 帯 7 社 24 局に周波数配分を行った。TVWS 帯は 5 社 31 局であったが多チャンネルを組まれたアーチドックオーディオに専用帯を除く他 2 社のフォローを依頼した。

「次世代ワールドホビーフェア大阪大会」京セラドーム

1.2GHz 帯 5 社 51 局 TVWS 帯 5 社 48 局 合計 99 局の周波数配分を行ったが、前回東京大会より TVWS 帯が 22 局少なくなったことで、プランはスムーズに組めた。

「CP+」パシフィコ横浜

TVWS 帯 9 社 67 局 1.2GHz 帯 5 社 45 局に周波数配分を行った。TVWS 帯では Shure UHF シリーズ J5HK TV31ch ~ 40ch に各社集中したが、アートブレーンカンパニーならびにラディックスのご協力により高い周波数帯にも分散することが出来、多チャンネル運用が可能となった。両社には感謝申し上げる。

また TV40ch の中から配分したソニック リコーブースより不安定な周波数があるとの報告から、TV36,37ch で再度プランを行ったが、会場のパシフィコ横浜が所有する固定局との運用調整については今後の課題として検討を行いたい。

「NIKEI MESSE2019」セキュリティショー 他 複合展 東京ビッグサイト東 1 - 8、西 1 - 3

TVWS 帯 12 社 39 局 1.2GHz 帯 9 社 46 局 合計 85 局に周波数配分を行ったが、複合展の場合全体的に運用連絡のタイミングが遅く、事務処理も手間が掛かるため早めに運用連絡票の提出をお願いしたい。

「Griding Technology」「RAGE Spring」「Japan Drone 2019」「ドラッグストアショー」

幕張メッセホール 1、ホール 2、ホール 3、ホール 4 - 8

開催時期が重複するイベント、展示会にて TVWS 帯 12 社 77 局 1.2GHz 帯 52 局合計 129 局に周波数配分を行ったが、同施設のイベントカレンダーに表示されていない催事があり情報整理に苦労した。

「ジャパン建材フェア」東京ビッグサイト 西 1 - 2

1.2GHz 帯 8 社 27 局に周波数配分を行ったが、本番ぎりぎりの運用連絡票の提出もあり、展示会では早めの提出をお願いしたい。

「東京モーターサイクルショー」東京ビッグサイト 西 1 - 4

TVWS 帯 8 社 46 局 1.2GHz 帯 9 社 39 局 合計 85 局に周波数配分を行ったが、TVWS 帯は各ブースの帯域が分散したこともあり同施設の西棟としてはプランし易かった。

「アニメジャパン 2019」東京ビッグサイト 東 1 - 8

TVWS 帯 14 社 161 局 1.2GHz 帯 9 社 47 局 合計 208 局に周波数配分を行った。

オフィシャルステージを担当されたトゥ・ミックスとは昨年について早い段階から周波数プランに関して相談を行い、周波数検討に対してご協力頂いたことに感謝したい。

またトレジャーアイランドコーポレーションはじめ多くの会員社が運用周波数帯域の変更などにご協力頂いた事により、これだけの多チャンネルプランが組めたと考えている。

しかしながら、毎年増大する運用局数に関しては同イベント運営事務局を訪問し、主催者担当にご挨拶するなかで来年の課題として報告を行った。

7. 干渉報告

4月10日(水) 愛知県産業労働センター 林氏より

4月9日(火) 運用していた1.2GHz帯(1242.125MHz)のラジオマイクにノイズの混入ならびに音声断などの干渉被害があったとの連絡を受けた。

運用調整システムに於いて、同日の当該施設周辺の混信判定を行ったが移動局等の運用は無く、また名古屋市周辺の1.2GHz帯FPUの運用もなかった。



新規加入会員紹介コーナー

平成 31 年 1 月～ 2 月

関 東

●株式会社オールミックス

会員番号 030-0935

代表取締役 江川 智之

入会：平成 30 年 12 月 25 日 移動

パナソニック…8 局

〒 107-0052 港区赤坂 2-16-20 トリオ赤坂ビル 2F

運用担当者 江川 智之

TEL03-6441-0713 E メール info@allmix.main.jp

●株式会社 LDH JAPAN (LDH kitchen THE TOKYO HANEDA)

会員番号 030-0936

代表取締役 森 雅貴

入会：平成 31 年 1 月 7 日 固定

シュア…4 局

〒 144-0041 大田区羽田空港 3-3-2

運用担当者 山田 卓弥

TEL03-5725-2478 E メール t-yamada@ldh.co.jp

●神田神社 (神田明神ホール)

会員番号 030-0937

代表役員 大鳥居 信史

入会：平成 31 年 1 月 11 日 固定

シュア…10 局

〒 101-0021 千代田区外神田 2-16-2

運用担当者 長沢 隆光

TEL 03-3254-0753 E メール r.saito@myoujin-hall.jp

●株式会社 A24music

会員番号 030-0938

代表取締役 宮島 淳

入会：平成 31 年 1 月 17 日 移動

シュア…4 局

〒 300-1514 取手市宮和田 371-1

運用担当者 宮島 淳

TEL 090-3202-1166 E メール a24music@extra.ocn.ne.jp

●株式会社 nrs

会員番号 030-0939

代表取締役 野村 裕紀

入会：平成 31 年 1 月 25 日 移動

シュア…12 局

〒 150-0012 渋谷区広尾 1-9-15 広尾宮田アネックスビル 7 階

運用担当者 澤村 泰輝

TEL 080-3440-2191 E メール sawamura@nrs1.jp

●サッポロ不動産開発株式会社 (パノラマスペース common ginza)

会員番号 030-0940

代表取締役社長 時松 浩

入会：平成 31 年 1 月 29 日 固定

シュア…6 局

〒 104-0061 中央区銀座 5-8-1

運用担当者 木村 敏之

TEL 03-5423-7114 E メール toshiyuki.kimura@sapporo-re.co.jp

【ひとこと】東京メトロ銀座駅直結の商業施設GINZA PLACEの3Fにあるイベントスペースです。
広い窓面からは銀座四丁目交差点の景色が一望できます。

●東京急行電鉄株式会社 (渋谷ストリームホール)

会員番号 030-0941

取締役社長 高橋 和夫

入会：平成 31 年 2 月 20 日 固定

シュア…6 局

〒 150-0002 渋谷区渋谷 3-21-3

運用担当者 大坪 篤史

TEL 03-6419-9500 E メール a.ohtsubo@stream-hall.jp

●株式会社ティ・ピー・ブレン

会員番号 030-0942

代表取締役 川口 珠

入会：平成 31 年 2 月 25 日

移動 パナソニック…4 局

〒160-0022 新宿区新宿 1-15-11 今給黎ビル 4F

運用担当者 今井 珠

TEL03-3359-2721 E メール masaki@tpbrain.co.jp

●株式会社日本ネットワークサービス

会員番号 030-0943

代表取締役 中村 一政

入会：平成 31 年 2 月 25 日

移動 ソニー…12 局

〒400-0027 甲府市富士見 2-4-30 NNS 放送センター

運用担当者 古屋 祐一

TEL055-251-7114 E メール y-furuya@nns-catv.co.jp

【ひとこと】山梨県甲府市を中心に 7 市 3 町をカバーしているCATV局です。地域に密着した番組制作やインターネットサービス、光電話等の多角的なサービスを行っています。よろしくお願いします。

●株式会社 WISE CORPORATION

会員番号 030-0944

代表取締役 立石 泰隆

入会：平成 31 年 2 月 28 日

移動 シュア…2 局

〒101-0041 千代田区神田須田町 1-8-3

運用担当者 木下 大輔

TEL03-3526-6966 E メール kinoshita@wisecorp.co.jp

信 越

●ホテル国際 21 株式会社（ホテル国際 21）

会員番号 040-0037

代表取締役 加藤 章

入会：平成 31 年 2 月 7 日

固定 シュア…8 局

〒380-0838 長野市県町 576

運用担当者 成田 実

TEL026-225-9393 E メール m-narita@kokusai21.jp

東 海

●有限会社ステージコラボレーション IGA

会員番号 060-0134

代表取締役 西出 裕貴

入会：平成 31 年 1 月 7 日

移動

シュア…8 局

〒518-0001 伊賀市佐那具町 762-4

運用担当者 本田 亮三朗

TTEL0595-24-2329 E メール ponda@stageiga.com

近 畿

●株式会社アウラサウンドワーク

会員番号 070-0297

代表取締役 松原 秀行

入会：平成 31 年 1 月 9 日

移動

シュア…2 局

〒650-0016 神戸市中央区橘通 4-1-27-202

運用担当者 松原 秀行

TEL075-951-8910 E メール aurasoundwork@gmail.com

【ひとこと】お世話になります。色々と勉強させて下さい。よろしくお願いいたします。

- 一般社団法人京都産業会館（京都産業会館ホール） 会員番号 070-0298
理事長 吉田 忠嗣 入会：平成 31 年 2 月 21 日 固定 シュア…11 局
〒600-8009 京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町 78 番地（京都経済センター）
運用担当者 松島 景司 TEL075-351-1300 FAX075-351-1302 E メール front@ksk.or.jp
【ひとこと】今春開業の京都経済センター 2 階に位置するホールは、センターの交流創出・情報発信の中核的施設として、
また京都ブランドの発信はもとより講演会・企業の研修など MICE にも対応しています。

四 国

- 株式会社ときわ（ザ・パシフィックハーバー） 会員番号 090-0035
代表取締役 高畑 富士子 入会：平成 31 年 1 月 17 日 固定 オーディオテクニカ…6 局
〒770-0856 徳島市中洲町 3-5-1
運用担当者 青山 哲治 TEL088-638-0135 FAX088-638-0134 E メール aoyama@bctokiwa.co.jp

九 州

- 株式会社マイステイズ・ホテル・マネジメント 会員番号 100-0090
(アートホテル小倉ニュータガワ)
代表取締役 麻野 篤毅 入会：平成 31 年 1 月 24 日 固定 シュア…4 局
〒802-0082 北九州市小倉北区古船場町 3-46
運用担当者 丹村 茂樹 TEL093-521-7000 E メール shigeki.nimura@mystays.com
- 株式会社ライクアール 会員番号 100-0091
代表取締役 児玉 明広 入会：平成 31 年 2 月 12 日 移動 シュア…4 局
〒899-5543 始良市下名 420
運用担当者 児玉 明広 TEL 0995-66-4876 E メール dama@like-r.com

第19回 関東広域圏 FPU・ラジオマイク運用連絡懇談会

平成 31 年 3 月 14 日(木) 中野サンプラザ(東京都)にて、「第 19 回 関東広域圏 FPU・ラジオマイク懇談会」が行われた。放送局側のまとめ役としてテレビ朝日の協力を頂き、参加者は NHK、在京民放各局、(一社)日本民間放送連盟「テレビ周波数 WG」、総務省関東総合通信局、TV ホワイトスペース等利用システム運用調整協議会(WS 協議会)事務局、当機構の理事・委員・会員・事務局職員など合計 29 名となった。



特定ラジオマイクと FPU(テレビ放送用の無線中継伝送装置)は、旧 700 MHz 帯から周波数移行後の 1.2GHz 帯に至るまで、共用もしくは隣接した周波数帯にて運用しているため、それぞれの運用者同士が相互理解を深めるために平成 13 年から開かれている。また、昨年から当機構と一体となって運用調整業務を行っている WS 協議会事務局(一財・電波技術協会)との共催として本懇談会を実施している。



冒頭の挨拶をする渡邊邦男 当機構理事長(左)と
加藤千早 WS 協議会事務局長

冒頭、渡邊邦男当機構理事長と加藤千早 WS 協議会事務局長から挨拶があった。続

いて参加者の自己紹介があった後、外部の講師などを招いてセミナーが行われた。概要は以下のとおり。

「TV ホワイトスペース等利用システム運用調整協議会の現状と今後」

講師：TV ホワイトスペース等利用システム運用調整協議会

加藤千早 事務局長

- ・TV ホワイトスペース等利用システム運用調整協議会の現状
- ・運用調整コンピュータシステムと運用調整方法
- ・チャンネルリスト短期掲載への取り組み
- ・マラソンなど広域利用コースの地図利用入力
- ・スポーツ大会への取り組み など

「1.2/2.3GHz 帯 FPU の高度化について」

講師：株式会社 NHK アイテック

（現・株式会社 NHK テクノロジーズ）

映像・情報ビジネス部門 システム

技術部エグゼクティブエンジニア

岩館祐一 様

- ・ FPU とその伝送方式について
- ・ 高度化技術①「適応送信制御 SVD-MIMO」
- ・ 高度化技術②「ターボ符号を用いたレートマッチング技術」
- ・ 周波数共用条件の検討の概要 など



セミナーの講師を務めて頂いた 株式会社 NHK アイテック（現・株式会社 NHK テクノロジーズ）の岩館祐一 様

運用調整の仕組みや WS 協議会の新たな取り組み、次世代の FPU がどういったシステムになるのかなど、参加者の知識を深める有意義な講演となった。



ご参加頂いた放送局・当機構の理事・委員・会員の皆様



本懇談会の進行を務める
甲田乃次 テクニカルチーフ



閉会の挨拶を頂いた関東総合通信局放送課 田中敏晴 課長（左）と
同課 榎戸知也 上席企画監理官

意見交換を行った後、本懇談会を総括して、総務省関東総合通信局放送部放送課 田中敏晴 課長 から挨拶を頂いた。

懇談会終了後には懇親会を行ない、フランクに意見交換を行うことができた。

今回の懇談会では、音響と放送の垣根を越えて、お互いの理解をさらに深めることができたことはもちろん、当機構とWS 協議会との“一体化”にも確かな手応えを感じる懇談会となった。



懇親会開会の挨拶を頂いたテレビ朝日 高木武彦 技術局運用統括センター長



乾杯の発声を頂いた小川一朗 当機構技術委員長（ソニー（株））



懇談会終了後に場所を移して懇親会となった

特ラ機構とWS 協議会について

TV ホワイトスペース帯や 1.2GHz 帯は、特定ラジオマイクやエリア放送、FPU など様々な無線システムで共用している。これら異なった無線システム間の運用調整を行うため、平成 25 年、現在の「TV ホワイトスペース等利用システム運用調整協議会」が設立された。同協議会は、当機構や放送事業者、エリア放送事業者、その他関係団体などで構成されている。

当機構は、WS協議会事務局のラジオマイク等運用調整担当として機能しているほか、会員として同協議会に加入している。特定ラジオマイクの免許人である当機構会員は、当機構を通してWS 協議会へ団体加入しているというかたちになる。



「地上デジタル放送(4K・8K)に向けた実証実験について」

昨年度、TV35chにておこなわれた名古屋地区に於ける『地上デジタル放送の高度化に向けた実証実験』の電波発射が、2019年7月より再開される予定です。

今後の電波発射スケジュール等、特定ラジオマイクに関連する情報については、随時、当機構ホームページおよび特ラレポートなどでお知らせしていきます。

ラグビーワールドカップ2019組織委員会からのお願い

ラグビーワールドカップが、2019年9月20日～11月2日の間に全国12都市で開催され、多くのラジオマイクが使用される見込みです。

円滑な周波数調整のため、開催期間中に会場周辺で特定ラジオマイクを使用されるご予定がある場合は、早めに運用連絡票を特ラ機構へご提出いただきますようお願い申し上げます。

〈ラグビーワールドカップの会場〉

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| ・札幌ドーム（札幌市） | ・釜石鶴住居復興スタジアム（釜石市） |
| ・熊谷ラグビー場（熊谷市） | ・東京スタジアム（調布市） |
| ・横浜国際総合競技場（横浜市） | ・小笠山運動公園 エコパスタジアム（袋井市） |
| ・豊田スタジアム（豊田市） | ・花園ラグビー場（東大阪市） |
| ・神戸市御崎公園球技場（神戸市） | ・東平尾公園博多の森球技場（福岡市） |
| ・熊本県民総合運動公園陸上競技場（熊本市） | ・大分スポーツ公園総合競技場（大分市） |

〈本件問い合わせ先〉

ラグビーワールドカップ組織委員会

ICT 統合企画部 渡辺・笹生

TEL 03-6438-6320

ちょっとブレイク

県都甲府の500年

笛吹市にある山梨県立博物館 企画展「県都甲府の500年」を3月31日に見てきました。

県都「甲府」は1519年から2019年まで500年に渡り府中を司って来た、長い歴史を持つ県都だと言うことで、訪れてみたかった企画展です。

1519年12月20日で、武田信虎公（武田信玄の父）は戦国時代、甲斐国を統一し、現在の武田神社の場所（躰躰が崎）に館を移し、城下町を築きました。甲斐の府中であることから「甲府」と名づけられ、戦国大名今川義元は武田晴信（信玄）にあてた書状では宛名が甲府殿と記載されており、甲府の地名は定着していたことが窺われます。

武田信虎公は、現在まで続く甲府の基礎を築いたのです。

そして、武田三代（武田信虎、武田信玄、武田勝頼）の時代が終わり、織田信長、徳川家康、豊臣秀吉、浅野長政らが納める中、1600年甲府城が完成し



ます。徳川家康が天下を収めると徳川氏の直轄領となり一門が甲斐国を領有しましたが、1704年5代将軍徳川綱吉より甲府城主を与えられたのが、甲斐国出身（現：山梨県北杜市武川町柳沢）の柳沢吉保です。大名の城としてこの時代が、城も、城下町も最も整備され大きく発展しました。

しかし、1724年柳沢家が太和郡山（奈良県）に所領替えになり、甲府勤番支配が設けられると、江戸直轄の甲府勤番時代が長期に渡り続き、明治元年

（1868）官軍が甲府城に入り幕末を迎えることとなります。明治2年（1869）甲斐府が甲府県となりました。

明治4年（1871）山梨県となり、明治10年（1877）山梨県庁が完成しました。

明治22年（1889）6月10日内務省は甲府を市制施行地に指定、7月1日全国で34番目となる「甲府市」が誕生しました。明治36年（1903）6月中央線が八王子から甲府まで開通新宿⇄甲府間約6時間と



山梨県立博物館の正面



武田信虎公銅像



武田信玄公銅像

短縮され、甲府の都市化は一気に加速することになります。

また、100年前の大正8年（1919）躑躅が崎の館跡に武田神社が創建され、昭和3年（1928）富士身延鉄道（JR身延線）が全線開通、昭和6年（1931）中央線甲府⇄八王子間の電化が完成しますが、第二次世界大戦により、昭和20年（1945）7月6日夜、寝静まった甲府の街にアメリカ軍爆撃機B29による焼夷弾空襲を受け8月15日終戦を迎えました。

甲府空襲の被害は空襲のあった都市のなかでも大きなものだったそうです。

戦後の復興を終えた昭和30年代から40年代に、甲府の街は高度経済成長の波に乗り、めざましい発展を遂げ、昭和44年（1969）甲府駅南口に武田信玄公の銅像が建ち、翌年の昭和45年には第1回信玄公祭りが開催され、今年で48回目を迎えました。

昨年12月20日甲府駅北口よっちゃばれ広場に武田信虎公の銅像が建てられました。

南口の武田信玄公の銅像と合わせて甲府のシンボルがまた一つ増えました。

平成31年（2019）4月甲府市は、開府500年「つなぐ歴史 かがやく絆 こうふ開府500年」中核都市へ移行しました。みなさんも、身近な県都を探ってみてはいかがでしょうか。

（武藤 一郎）



「県都甲府の500年」チラシ

イベントの情報

桜前線も北へと移動し、若葉が香るすがすがしい季節となりましたが、この時期は、屋外でのイベントが増えるときでもあります。

特定ラジオマイクの使用には正確なデータを、**早めの連絡で、（日・祭日を除く2日前までが原則ですが、大規模な展示会等ではさらに運用調整が複雑になるため余裕をもって）**クリアに運用いたしましょう。

各会場のイベントカレンダーから主なものを拾ってみました。5月中旬～7月中旬までのものです。

日 程	展 示 会 名	会 場
5 月 13 日～5 月 15 日	★ビューティワールドジャパン 2019	東京ビッグサイト
5 月 22 日～5 月 24 日	★ JECA FAIR 2019 第 67 回 電設工業展	東京ビッグサイト
5 月 29 日～5 月 31 日	★ワイヤレスジャパン 2019	東京ビッグサイト
5 月 30 日～6 月 1 日	★ウェルフェア 2019 (第 22 回国際福祉健康産業展)	ポートメッセ名古屋
6 月 5 日～6 月 7 日	★JPCA Show 2019 (第 49 回国際電子回路産業展)	東京ビッグサイト
6 月 6 日～6 月 7 日	サービスロボット開発技術展 2019	インテックス大阪
6 月 12 日～6 月 14 日	★Interop Tokyo 2019	幕張メッセ
6 月 12 日～6 月 14 日	★APPS JAPAN アプリジャパン 2019	幕張メッセ
6 月 12 日～6 月 14 日	★デジタルサイネージジャパン 2019	幕張メッセ
6 月 13 日～6 月 16 日	東京おもちゃショー 2019	東京ビッグサイト
7 月 20 日～7 月 21 日	東京キャンピングカーショー 2019	東京ビッグサイト

★：複数会員社による同時使用実績あり

♪ ルールを守って クリアな運用 ♪

2019情報通信月間セミナー 特定ラジオマイクの「疑問」「要望」を募ります!

2019 年度の情報通信月間は 5 月 15 日から 6 月 15 日まで「ICTで 人と地域の未来につながる やさしい社会へ」をテーマに全国各地でさまざまなイベントが実施されます。

これに合わせて（一社）特定ラジオマイク運用調整機構でも 6 月 5 日(水) に例年通り、総務省関東総合通信局との共催、情報通信月間推進協議会の後援により『**特定ラジオマイクの更なる活用に向けて**』と題してセミナーを行う予定です。そこで皆様からこのセミナーで取り上げてほしい話題を募ります。ラジオマイクの運用で日ごろから疑問に思うこと、改善して欲しいこと、TV ホワイトスペース帯に関すること、イヤーマニターのこと、LED 映像システムとの問題点など、今号に同封いたしました、特定ラジオマイクの「疑問」「要望」リクエスト公募用紙、または、直接事務局あてにメール・FAX・電話・郵便等にてお寄せ下さい。締め切りを5月25日(土) といたします。

一般社団法人 特定ラジオマイク運用調整機構

〒162-0042 東京都新宿区早稲田町 74 中村ビル 3 階

TEL 03-5273-9806 FAX 03-5273-9808 E-mail office@radlomic.org

※今年度全国で開催される催しが、2019 情報通信月間登録行事として、下記ホームページの「参加行事一覧」「2019 参加行事」から閲覧できます。
情通通信月間HP <http://www.jtgkn.com/>

事務局便り



■ 再免許状のお届け

2019年5月31日に有効期限を迎え、事務局扱いでマイクの免許更新手続きをした新免許状は、5月下旬に各総合通信局から事務局へ届く予定です。事務局では必要なデータを記録した後、当該会員のご担当者宛に送付させていただきます。

免許状がお手元に届きましたら、記載内容を必ずご確認ください。新免許状の記載内容にご不明な点がある場合、また免許状が届かない等お気づきの事がありましたら、事務局免許担当の石川または坂入までご連絡下さい。

■ 2019年度特定ラジオマイク運用調整機構関係費用の請求

2019年度当機構関係費用（年会費・運用調整費）の請求書を、全会員社に発送させていただきました。内容をご確認のうえ、お振込みを宜しくお願い致します。

納入期限は2019年7月31日(水)です。繰越未納金（滞納金）がある会員社は、早めのお振込みをお願いします。



編集後記

年号が「令和」に代わり初めての特ラ機構レポート 168 号です。

初心に戻り、【ルールを守って、クリアな運用】を旗印に、正確なデータを、早めに提出する。

これが、ラジオマイクを運用するうえで重要なポイントです。最近、運用連絡票の提出が遅いため、先に提出した使用者との運用連絡調整に支障をきたす事例が報告されています。使用過密地帯ではNG、後出しジャンケンはダメです。！

今回は10連休のため、レポートをお送り出来るのが連休明けになります。

皆様今後とも宜しくお付き合いください、そして原稿も宜しく願います。

（武藤）